令和７年度　第７回第７期松本市地域づくり市民委員会　会議要旨

開催日時　令和８年２月２０日（金曜日）　午後１時３０分から午後３時００分まで
開催場所　大手公民館　視聴覚室・講義室
出席者（敬称略）
委員　古田成志（委員長）、降旗都子（副委員長）、野村委員、中村宗晴、永塚博、塩原敏宏、堀川聡子、百瀬壽、櫻井美智代、赤羽勝、中島麻衣、櫻井利彦
（欠席：金正玉、竜田大輝、木藤永子）
事務局　地域づくり支援課　地域づくり支援課長　上條智久
地域づくり支援担当　課長補佐　床尾拓哉　主事　稲場毅人
市民活動推進担当　係長　小岩井一樹

１　開会
（委員長　古田成志）

２　あいさつ
（委員長　古田成志）

３　会議事項
⑴　ワーキンググループによるグループワーク
これまでに実施したグループワークをもとに、グループごと、市への要望・提言について話し合いを行った。

グループ番号	テーマ	話し合われた内容
①	持続可能な自治組織（町会）のあり方	・　町会のスリム化及び効率化が進まない原因として、日常業務で手一杯で、余力がないことが考えられる。 ・　町会の負担削減に向けた取組みは、様々な場面で進んでおり、これ以上の削減は難しいのではないか。 ・　今後は、デジタル化推進による、業務効率化を図ることで、負担感を軽減する取組みが重要になるのではないか。 ・　デジタル弱者等に対する支援（スマホ講座等）がどの程度行われているか、現状調査を行ってほしい。 ・　家族内に町会関係者がいる場合、他の家族は町会参加に対する意識が薄れる傾向にあるため、その対策を考える必要がある。

グループ番号	テーマ	話し合われた内容
②	幅広い住民の地域参加の促進	・　様々な世代の地域参加を促すため、Zoom等のデジタルツール活用に向けた支援体制を構築できないか。 ・　対象年齢を若者等に限定して実施している地域の取組みを調査し、すべての地区へ展開してほしい。 ・　地区公民館の利用には団体登録が必要で、気軽に集う場としてはハードルが高いことから、柔軟に使用できる仕組みを考えてはどうか。 ・　市ＨＰ等で自分の情報（住所・年齢・興味関心など）を入力すると、個人に適した地域の情報が表示される仕組みは作れないか。 ・　若者の地域参画に向け、若者参画課と地域づくりセンター・公民館が連携した取組みが必要ではないか。
③	多様な主体との協働の推進	・　町会やＮＰＯ、企業が望むものが異なるため、それぞれの実態に即した仕組み作りや情報発信が必要ではないか。 ・　新しい取組みを始めるためには、大きなエネルギーを必要とするため、国や県を含む既存の仕組みを上手く活用することはできないか。 ・　地域貢献に積極的なＮＰＯや企業へのインセンティブ制度を新設してはどうか。

⑵　その他

（説明　事務局）

・　事務連絡について

（以上）